



特集
『新規就農』in 大江町の魅力

大きな鮎、次々と

テルメ柏陵に隣接する観光やなが、落ち鮎のシーズンを迎えました。取材に訪れた9月25日には、朝から約2千匹の鮎がかかり、次々とあみですくい上げていました。今年の鮎は例年と比べて大きく、食べごたえがあるそうです。鮎まつりが楽しみです。

平成26年

10

No.644

特集

『新規就農』

in 大江町の魅力

1

充実した
研修受入農家

3

大江町の手厚い
バックアップ

2

農業には最高の
自然環境

黄金色に実った水田で稲刈りにいそしむのは、橋本光弘さん（伏熊）ご夫妻です。今年から大江町で新たに農業を始めました。

農業は、おいしい米や野菜、果物などを生産するだけでなく、多様な生態系の保護や美しい風景の形成など、私たちの生活に大きな役割を果たしています。

しかし、町の農家人口は年々減少しており、町では農業の担い手の確保が喫緊の課題となっています。

そのような中、近年町内で新しく農業を始めようと、町外から農業を学びに来る「新規就農希望者」が増えています。

平成25年に町内で農業研修を受けた方は7名で、その内2名の方が、今年から独立して農業を始めています。

新規就農者の増加は農業の活性化のみならず、定住対策など町の活性化にもつながります。今月は町内でおこなわれている新規就農の動きについてお伝えします。

渡辺 誠一 さん

(塩野平・大江町就農研修生受入協議会会長)



栽培面積：すもも 400a、さくらんぼ 10a、桃 10a、リンゴ 20a、ラフランス 20a、他果樹多数、水稻 430a、大豆（有機無農薬）100a、そば 50a、枝豆 10a、原木なめこ、原木しいたけ

大江町の農業の現役世代は65歳～70歳、つまり、あと何年できるか分からない人が多い状況です。そんな中、農作物の市場ではより多くの生産量が求められています。農家が少なくなり生産量が減っていくと、市場ではなかなか相手にしてもらえない場合もあります。この現状をどうにか打開したいと思い、町に新規就農者（おしん）を呼び込み、大江町で農業を始めてもらおうと O S I N の会を立ち上げました。

O S I N の会では定期的に新・農業人フェアに参加していますが、大江町の新規就農者受入体制は一番（日本一）だと思います。他の参加団体は多くが受入農家や自治体などが単独でおこなっていますが、新規就農者の受入はそれら単体ではまかないきれません。大江町の場合、受入農家の他に町や農協が協力し合い新規就農者をサポートするので、営農技術や農地の確保、資金の助成など多方面で充実した受入体制になっています。

大江町の新規就農者の受入体制は日本一

① 充実した研修受入農家

「設立してから1年半が経ちますが、会の活動がきっかけで大江町に定住してくれた方は13人（10月現在）になりました。先月の農業人フェアでも、新たにきてくれそうな方もいて、新規就農者の受入は、定住対策にもつながっていますね」と話すのは大江町就農研修生受入協議会（以下 O S I N の会）会長の渡辺誠一さんです。

O S I N の会は、平成25年4月に、町内外から新規就農研修生を受け入れ、農業後継者の育成および地域を活性化しようと、町内の個人農家9名が協力して設立しました。会では、大都市で開催される新規就農者のための総合イベント「新・農業人フェア」に定期的に参加しつつ、次のような受入体制をとり、大江町への就農者の呼び込みを図っています。

【幅広い営農技術の習得】

「9人の受入農家から、そ

れぞれが実践している多様な営農技術を学ぶことができず」と渡辺会長は話します。

9人の受入農家は、それぞれが幅広い作目を育てている熟練の農家の方々で、さまざまなノウハウを教えることが可能です。

【農地の確保】

新規就農者は、他の農家から「借用」もしくは「購入」することによって、自分の農

地を確保するのが一般的です。しかし、大切な農地を簡単に渡す所有者は少なく、新規就農者個人で見つける場合時間がかかります。また空いている農地があったとしても、所有者から「この人になら農地を任せられる」と信頼してもらうことも必要です。

この点、O S I N の会では会員農家から情報が集まってくるので情報量が多く、会が仲介しているので所有者から



◀ 設立総会時の様子

大江町就農研修生受入協議会概要

設立：平成25年4月17日

受入農家：9家

設立目的：農業後継者の育成、地域の活性化を目指して、農家自ら新規就農希望者を育てる協議会を設立

実績：平成25年度研修生7名
(内独立就農2名、農業法人就職2名)
(短期農業研修受け入れ24名)

山川 正信 さん

(蛭水・受入農家)



栽培面積：トマト43a、キャベツ・ブロッコリー・カリフラワー 150a

県庁所在地の山形市まで車で30分というのは魅力です。15分だと近すぎます、住宅が多くなっていくからです。大江町は農業するのに適度な田舎具合、かつ山形市が近いので農作物を生産するにも販売するにも良い距離です。

農業をするには水と空気がきれいなところが大前提です。大江町の場合は特に水の条件が良いです。国立公園である朝日連峰を水源としているので、水質が保障されてますし、日本有数の豪雪地帯なので量も豊富です。それに加え、大江町の農地は中山間地が多いので、夜の平均気温が山形市と比べ2～3度低いです。この差は大きく、昼夜の寒暖差があることで他の土地よりおいしい物が育ちますし、1週間～10日あとまで出荷できる場合もあるので、販売先でも喜ばれます。

農業は営農技術の取得も重要ですが、気候風土の力も大きく影響するので、そういった意味で大江町は農業をする上で最高の自然環境だと思います。

昼夜の寒暖差、良質な水、農業には最高の自然環境

「何でもおいしく育つ」とい

「普段気づかないかもしれ

② 農業には最高の自然環境

信頼してもらえ、農地の確保

「大江町就農研修生受入協議会」のメリットは

- 9人の農家がいるため、異なる考え方を学ぶことができる
- 9人の農家がいるため、さまざまな作物の栽培を学べる
- 9人の農家から、空いている土地や畑の情報が集まるので、情報量が多く、信頼性も高い
- 9人の農家がバックアップするため、研修先の農家と人間関係に問題が生じて、研修の継続が容易
- 毎月勉強会をおこなうため、研修生同士の活発的な情報交換が可能

受入農家 (4月現在)

渡辺 誠一 (塩野平) 鈴木 哲雄 (伏熊) 林 昇司 (上北山)
阿部藤一郎 (堂屋敷) 山川 正信 (蛭水) 渡邊 祐司 (塩野平)
明石 永七 (12区) 五十嵐 弘 (富沢) 菊地 慎也 (深沢)



O S I Nの会現地説明会

橋本 光弘 さん

(伏熊・新規就農1年目)



栽培面積：水稲 60a 多品目野菜 40a

大江町に就農するまで、農業法人や受入農家さんの下で営農技術を学びました。全部で6年弱になります。今は、水稲と多品目の野菜を有機農法で作っています。

独立1年目から有機農法および多品目にした理由は、より多くのお客様と直接やりとりする農業がしたかったからです。今後は、ブルーベリーなどの果樹も取り入れていきたいですね。収穫した農作物は、個人宅配のほか、直売所関係や料理屋さんにも納めています。作物を育てながら同時進行で、販売先を拡大していこうと思います。

ただ、新規就農したてなので、高価な農機具への支出や思いもよらない支出が出てきているので、町からの家賃補助、光熱費補助は助かっています。

新規就農で必要なことは、農業にかける信念と経験だと思います。これからも、さまざまな経験を積み自分でできることを増やし、自分の農業をやりきりたいですね。

就農直後の町のサポートには助かっています

われているそうです。

また、雪についても山川さんは「雪の降らないところでは通年で農業が可能ですが、年間の降水量が少ない場合も多いです。雪が降るからこそ、水がきれいで豊富にあるし、害獣や害虫が越冬できないので、シーズン中の被害も少ない、畑を休めるというサイクルも組めます。そういった意味で、雪は必ずしもデメリットにはならない」と話します。

③ 大江町の手厚いバックアップ

新規就農する場合に必要な資金は、農産物から収入を得るまでの間にかかる「生活資金」と農業施設や農機具などの「営農資金」があります。

現在国から「青年就農給付金」として最長で7年間、合計1050万円が支給されますが、それでも新規就農の場合、経営が安定するまで支出抑える必要があります。

これを補うものとして大江町では、次のような援助を実施、または予定しています。

【家賃補助と住宅整備】

町では現在、旧大江中学校の寄宿舎を無料で利用できる研修施設として開放しているほか、家族で家を借りる場合には光熱水費や家賃にも補助しています。

また、望山区内に新規就農者向けの住宅の整備も進めています。住宅は家族向けで、地元の木材をふんだんに使用した大江町型住宅を予定しており、今年度中の完成を目指しています。

【農機具、施設の共同利用】

現代の農業で、全て手作業



でおこなうというのは、可能に近いと言われています。ただ、農機具は高額なものが多く、作目によっては新品価格が500万円以上になる機具もあり、新規就農する上で大きな負担となっています。

町ではこの部分をサポートするため現在、農機具の購入補助をおこなっています。

また、農作業には複数の機具を必要とすることから、今後新規就農者同士が機具や設備を共同で利用できるしくみの構築をサポートしていく予定です。

橋本さんは今、有機農法で多品目の野菜を育てています▶

●●各会計の決算状況●●

平成25年度

決算報告

一般会計

歳入総額		53億9,639万円	歳出総額		50億1,573万円
町税	8億610万円		議会費	8,531万円	
町税の内訳			総務費	7億8,272万円	
固定資産税	3億5,751万円		民生費	10億1,176万円	
町民税	3億5,749万円		衛生費	2億4,143万円	
町たばこ税	4,899万円		労働費	838万円	
軽自動車税	2,289万円		農林水産業費	4億1,143万円	
都市計画税	1,870万円		商工費	2億2,930万円	
入湯税	52万円		土木費	7億1,416万円	
地方譲与税	6,012万円		消防費	1億8,695万円	
利子割交付金	176万円		教育費	3億9,257万円	
配当割交付金	181万円		災害復旧費	2億3,214万円	
株式等譲渡所得割交付金	268万円		公債費	6億3,204万円	
地方消費税交付金	7,082万円		諸支出金	8,754万円	
自動車取得税交付金	1,726万円				
地方特例交付金	304万円				
地方交付税	24億3,710万円				
交通安全対策特別交付金	118万円				
分担金及び負担金	703万円				
使用料及び手数料	7,803万円				
国庫支出金	5億3,159万円				
県支出金	3億9,147万円				
財産収入	2,581万円				
寄付金	297万円				
繰入金	1億7,529万円				
繰越金	2億8,454万円				
諸収入	6,219万円				
町債	4億3,560万円				

町の財産状況

土地	1,446,084㎡
建物(延床面積)	59,062㎡
道路(町道)・橋りょうの延長	193,221m
車輛	80台
有価証券など	7,121万円
積立金(基金)	20億3,176万円
温泉権(4件)	3億4,693万円

※すべての会計の合計。車輛には除雪車や消防自動車、小型動力ポンプなども含まれます。

特別会計

歳入総額		24億2,247万円	歳出総額		22億9,836万円
国民健康保険特別会計	9億6,030万円		国民健康保険特別会計	8億6,782万円	
後期高齢者医療特別会計	1億188万円		後期高齢者医療特別会計	9,971万円	
介護保険特別会計	9億9,167万円		介護保険特別会計	9億7,114万円	
宅地造成事業特別会計	3,647万円		宅地造成事業特別会計	3,620万円	
簡易水道事業特別会計	1,058万円		簡易水道事業特別会計	904万円	
公共下水道事業特別会計	2億7,112万円		公共下水道事業特別会計	2億6,476万円	
農業集落排水事業特別会計	5,045万円		農業集落排水事業特別会計	4,969万円	

水道事業会計

収入総額		3億7,070万円	支出総額		4億8,345万円
収益的収入	2億4,029万円		収益的支出	2億3,636万円	
資本的収入	1億3,041万円		資本的支出	2億4,709万円	

※資本的収支の不足額については、当年度消費税資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金、建設改良積立金で補てん

一般会計の主な増減

単位：万円、%

歳入総額	平成25年度	平成24年度	増減額	増減率	歳出総額 (性質別)	平成25年度	平成24年度	増減額	増減率
	53億9,639	53億660	8,979	1.7		50億1,573	50億2,206	△633	△0.1
町税	8億610	8億477	133	0.2	人件費	9億1,641	9億713	928	1.0
地方交付税	24億3,710	23億7,058	6,652	2.8	扶助費	4億5,963	4億4,781	1,182	2.6
国庫支出金	5億3,159	4億3,557	9,602	22.0	補助費等	4億9,527	4億9,902	△375	△0.8
県支出金	3億9,147	2億9,388	9,759	33.2	公債費	6億3,204	6億7,573	△4,369	△6.5
繰入金	1億7,529	2億2,749	△5,220	△22.9	繰出金	5億5,966	5億8,023	△2,057	△3.5
町債	4億3,560	5億4,980	△1億1,420	△20.8	普通建設事業費	8億130	8億9,996	△9,866	△11.0

決算規模は、歳入が53億9,639万円(1.7%の増)、歳出は、50億1,573万円(0.1%の減)となりました。前年度比較で減となった主な要因は、歳入は、町債や繰入金が増加した一方で、地方交付税や国庫支出金が増加したため、全体では増となっています。また、歳出では、公共土木施設災害復旧事業などの投資的経費は増加したものの、公債費や積立金、繰出金等が減少したことにより全体で減となったものです。

平成25年度の一般会計と各特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。一般会計と7つの特別会計の総額は、歳入が78億1,885万8,237円、歳出が73億1,409万6,062円となりました。その概要をお知らせします。

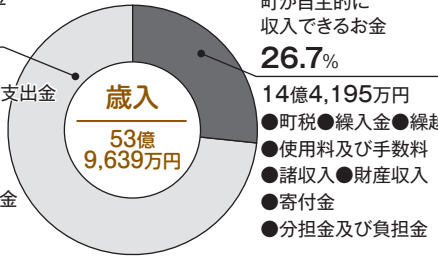
収支決算（一般会計）

依存財源

国・県から交付されたり、借入れられたりしたお金

73.3%

- 39億5,444万円
- 地方交付税 ●国庫支出金
- 町債 ●県支出金
- 地方譲与税
- 地方消費税交付金
- 自動車取得税交付金
- 地方特例交付金
- 利子割交付金
- 交通安全対策特別交付金
- 配当割交付金
- 株式譲渡所得割交付金



自主財源

町が自主的に収入できるお金

26.7%

- 14億4,195万円
- 町税 ●繰入金 ●繰越金
- 使用料及び手数料
- 諸収入 ●財産収入
- 寄付金
- 分担金及び負担金

その他の経費

38.3%

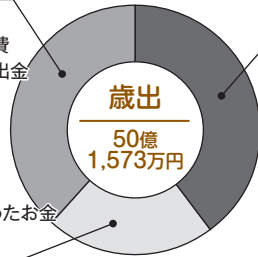
- 19億1,829万円
- 補助費等 ●物件費
- 維持補修費 ●繰出金
- 積立金 ●その他

義務的経費

支出が義務付けられているお金

40.0%

- 20億808万円
- 公債費
- 人件費
- 扶助費



投資的経費

建設工事などに使ったお金

21.7%

- 10億8,936万円
- 普通建設事業費
- 災害復旧事業費

主な財政指標の推移（一般会計決算に基づくもの）

区分	23年度	24年度	25年度
財政力指数	0.25	0.26	0.26
経常収支比率	83.2%	86.0%	85.1%
公債費負担比率	17.8%	16.6%	15.1%

一般会計の町債（借入金）残高の推移

単位：万円

区分	23年度	24年度	25年度
発行（借入）額	3億9,450	5億4,980	4億3,560
元金償還（返済）額	6億8,379	6億1,135	5億7,431
年度末残高	48億5,356	47億9,201	46億5,330

※**財政力指数**とは、地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3か年平均値です。自治体の財政力を示す指数として用いられ、数字が大きければ大きいほど財政的に豊かであるといえます。

※**経常収支比率**とは、町税や普通交付税などの使途を特定されない経常的な一般財源収入に対して、人件費や公債費といった毎年必ず出ていく経常的に支出されるお金の割合がどのくらいになっているかを示す値です。この値が大きくなればなるほど自由に使えるお金が少ないということになります。

※**公債費負担比率**とは、公債費に充当した一般財源が、一般財源総額に対してどの程度の割合になっているかを示す指標です。この値が大きくなると、一般財源の使い道が制約されていることとなります。

各特別会計の町債（借入金）年度末残高の推移

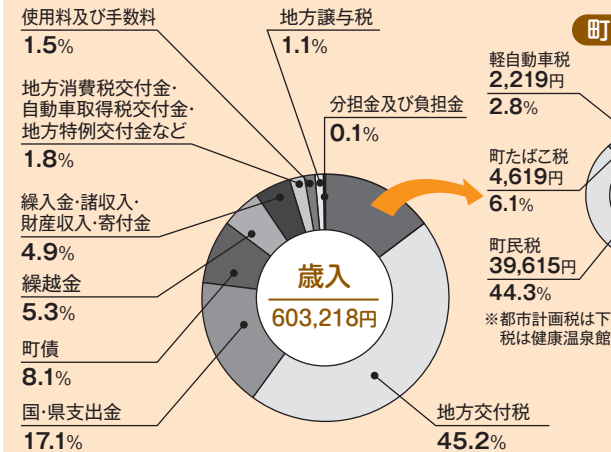
単位：万円

会計区分	23年度末	24年度末	25年度末
宅地造成事業特別会計	0	0	0
簡易水道事業特別会計	255	225	195
公共下水道事業特別会計	23億8,160	23億1,166	22億2,895
農業集落排水事業特別会計	3億3,523	3億1,455	2億9,455
水道事業会計	7億64	6億7,510	6億5,748
合計	34億2,002	33億356	31億8,293

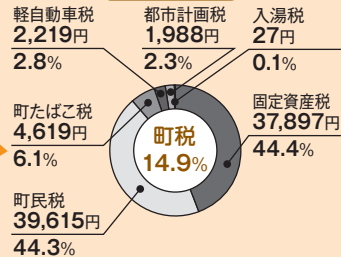
町民一人あたりの歳入と歳出

町の人口 / 8,946人

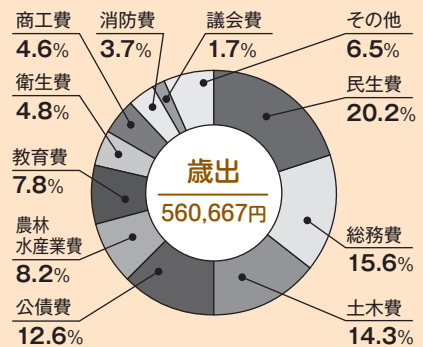
(平成26年3月31日現在・住民基本台帳人口)



町税の内訳



※都市計画税は下水道事業会計繰出金など、入湯税は健康温泉館設備修繕などに充当しました。



歳入

603,218円

町税	皆さんから納めていただいた税金	90,107円
地方交付税	団体間の財源の不均衡を調整するため、国税として国が代わって徴収し、分配されたお金	272,424円
国・県支出金	町の事業に対し、国や県から交付されたお金	103,181円
町債	国や金融機関から借りたお金	48,692円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	31,806円
繰入金・諸収入・財産収入・寄付金	基金を取り崩したお金、町有地などを売却して得たお金、寄附をいただいたお金など	29,763円
地方消費税交付金・自動車取得税交付金など	消費税の一部、自動車取得税の一部として県から交付されたお金など	11,017円
使用料及び手数料	施設や保育所の使用料、住民票をとるときの手数料など	8,722円
地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金	6,720円
分担金及び負担金	施設の入所費用など特定の利益を受ける方に負担していただいたお金	786円

町民一人あたりの町債残高（一般会計） 520,154円

歳出

560,667円

民生費	高齢者、障害者、児童など福祉の費用	113,096円
総務費	地域振興や徴収、戸籍、選挙などの費用	87,494円
土木費	道路、河川、公園の整備などの費用	79,830円
公債費	国や金融機関から借りたお金の返済費用	70,651円
農林水産業費	農業や林業の振興、土地改良事業などの費用	45,990円
教育費	小・中学校や生涯学習、体育振興などの費用	43,882円
衛生費	保健衛生やごみ処理などの費用	26,987円
商工費	商工業の振興や各種観光イベントなどの費用	25,632円
消防費	消防や消火栓の整備などの費用	20,898円
議会費	議会の費用	9,536円
その他	労働者に対する金融対策などの費用ほか	36,671円

の算定結果を報告します

◆実質赤字比率

※ 実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成24年度
	黒字	15.0%	20.0%	黒字

実質赤字額とは、支出を翌年度に繰り延べたり、翌年度の歳入を繰り上げて使ったりした額のことです。平成25年度は、291,369千円の黒字決算となりました。

◆連結実質赤字比率

連結実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成24年度
	黒字	20.0%	30.0%	黒字

連結実質赤字額とは、一般会計や特別会計など町のすべての会計の実質赤字額(資金不足額)のことです。平成25年度は、いずれの会計とも赤字額が生じておらず、合計で675,134千円の黒字決算となりました。

◆実質公債費比率

実質公債費の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成24年度
	9.4%	11.1%	25.0%	35.0%	9.6%

実質公債費とは、町(一般会計等)が負担する公債費と補助金等を分割して負担するなどの債務負担行為などの公債費に準ずる支出のことです。比率は3か年の平均により算出しますが、内訳は、平成23年度…9.78742%、平成24年度…9.78197%、平成25年度…8.81354%となっています。

◆将来負担比率

将来負担額の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成24年度
	43.6%	70.7%	350.0%		45.1%

将来負担額とは、町(一般会計等)が将来にわたって負担すべき、町債、債務負担行為などのことです。また、町の貯金である基金などは、この負債から控除して計算されます。具体的な計算は、以下のとおりです。実質的な負債となる額8,297,292千円(A)、充当可能財源7,132,264千円(B)、標準財政規模(C)※、平成25年度の算入公債費等の額571,110千円(D) $(A-B) \div (C-D) = 43.6\%$

※…標準財政規模等とは、税収、地方譲与税、普通交付税などの用途を特定されない収入(一般財源)の標準とされる額で、平成25年度は、3,239,833千円となっています。

地方自治体財政の早期健全化や公営企業の経営健全化を図るため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、公営企業ごとの資金不足比率の算定と公表が義務付けられています。

このたび、平成25年度の算定を行ったところ、指標はすべて基準を下回り、町の財政は健全性を確保できていることがわかりました。今回は、その概要をお知らせします。(より詳しい内容は、町ホームページで公表しています)

議会

town council

9月定例会

大江町議会第3回定例会が、9月4日から12日までの会期で開かれました。

今定例会では平成25年度一般会計決算をはじめ、各会計の補正予算や人事案件などが審議され、原案通り可決・承認されました。

冒頭に渡邊町長から行政報告がありましたので、その内容の一部を紹介します。

行政報告

全国山菜サミットの開催

山菜は、山村地域の主要産物として地域活性化の一翼を担うとともに、多様で豊かな食生活を支える重要な食材としても注目されており、本町でもワラビやゼンマイなど、数多くの山菜

が自生しています。また、近年では、七軒地区を中心として良質なワラビや根曲り竹などの栽培にも力を入れており、生産量も年々増加傾向にあります。

このような中、県農林水産部から本町に全国山菜サミット開催の打診がありました。多くの方から山菜に対する理解を深めてもらう同サミットは、七軒地区の活性化とともに町産山菜の生産拡大につながるため、来年度本町での開催を引き受けました。

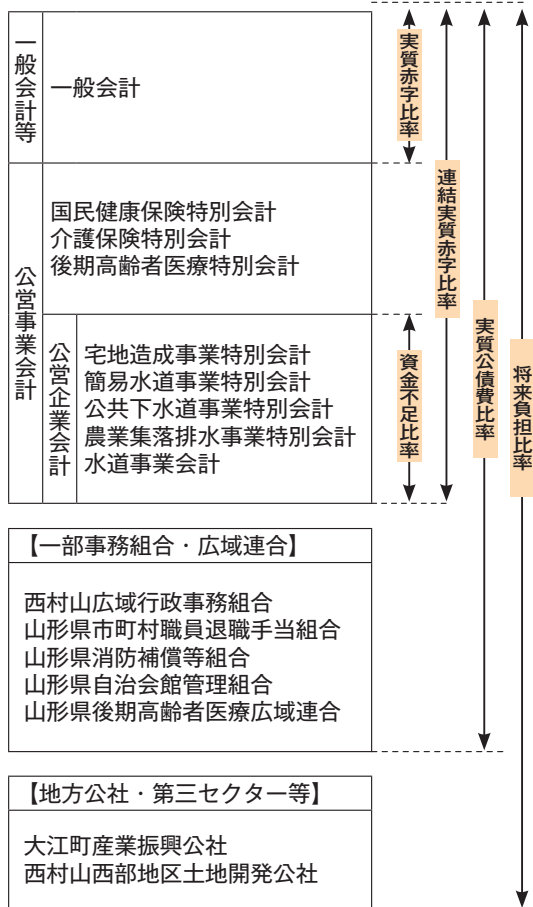
今後は、実行委員会設立など、開催に向けた準備を進めていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

選挙管理委員会などの選挙結果

大江町選挙管理委員会委員などの任期満了に伴う選挙がおこなわれ、駒林義雄氏(4区)、井上朋子氏(8区)、林幸一郎氏(諏訪原)、杏澤喜多子氏(13区)が当選しました。任期

平成25年度 財政健全化判断比率等

財政健全化判断比率等の対象範囲



◆資金不足比率

公営企業会計の名称	本町	経営健全化基準	事業規模(千円)
水道事業会計	—	20.0%	260,655
簡易水道事業特別会計	—	20.0%	1,536
公共下水道事業特別会計	—	20.0%	5,356
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%	760
宅地造成事業特別会計	—	20.0%	276

資金不足比率とは、公営企業ごとの資金の不足額が事業の規模に対してどの程度あるかを示すものです。平成25年度は、いずれの会計ともに資金不足額が生じていません。

●●財政健全化法とは●●

財政健全化法とは、地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐため、健全化判断比率により財政状況を把握し、悪化した団体に対して早期健全化を促すための法律です。これらの指標の基準には、外部監査などが義務付けられる「早期健全化基準」と破綻状態と見なされ事実上国の管理下に置かれる「財政再生基準」の二段階があり、いずれかの基準を超過すると、財政健全化計画または財政再生計画の策定などにより健全化を目指すことになります。また、資金不足比率についても、早期健全化のレベルにあたる「経営健全化基準」に抵触すると、経営健全化計画の策定などの制約が加わることになります。

●●大江町の指標のポイント●●

実質公債費比率は、平成25年度の元利償還金(地方債の借入金の返済金)が減少したことにより、前年度より0.2ポイントの改善となりました。

また、将来負担比率は前年度より1.5ポイントの改善となっており、将来負担額となる地方債(借入金)現在高が減少したことと、公営企業の公債費に充てるための繰出見込額が減少したことが主な要因となっています。

今回の算定では、いずれの指標とも改善傾向を示す結果となりましたが、町では今後も地方債の発行にあたっては慎重に進めながら財政の健全化に努めています。

人事案件の同意

は平成30年9月までとなっています。また、補充員の選挙もあわせておこなわれ、4名が当選しました。

大江町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、清野千代吉氏(顔好)が再任されました。任期は平成29年9月までとなっています。

大江町教育委員会委員の任期満了に伴い、白田民子氏(一区)が再任されました。任期は平成30年9月までとなっています。

補正予算

平成26年度一般会計補正予算(第3号)が原案通り可決され、歳入歳出にそれぞれ2億3920万円を追加し総額は51億1750万円となりました。

主な支出は財政調整基金や中央公民館の建替えに関する町有施設整備基金として2億2804万円、旧七軒西小学校の改修工事に165万円、災害報収集シス



宿泊施設への改修工事をおこなっている旧七軒西小学校

テム作成委託費や災害備蓄倉庫設置工事費など災害対策費に189万円、今年および昨年の豪雨災害の測量設計委託料や工事費として2209万円などとなっています。

また、テルメ柏陵健康温泉館の落雷による被害など、早期に対応する必要があるため専決処分された内容が報告され、承認されました。主な支出としては、健康温泉館の火災報知器および放送設備の修繕工事費などとなっています。

秋まつり

1

伝統芸能
一堂に会す



すがすがしい秋晴れの中、大江の伝統芸能が一堂に会する大江の秋まつりが9月21日に開催されました。JR左沢駅前広場ではパレードが開催され、出演者たちは各地区に受け継がれてきた自慢の伝統芸能を披露していました。

広場には、この日のために来町した東京おおえ会の皆さんをはじめ、大勢の観客が集まり大江の伝統芸能を大いに堪能していました。

- ①九区尚和会神輿
- ②七区囃子屋台
- ③八幡神社神輿
- ④深沢獅子踊
- ⑤十三区奴保存会



6



大江の

- ⑥御免町囃子座
- ⑦MOVERヒップホップダンス
- ⑧六区親和会子供神輿
- ⑨八区女相撲甚句
- ⑩左沢獅子踊
- ⑪おかみさんソーラン愛好会

8



7



5



9



10



11



■3000年前の柳川の暮らしを紹介 ～縄文の息吹「長畑遺跡調査講演会」～



縄文時代の遺物が発見された、長畑遺跡の調査結果を分かりやすく説明する講演会が8月30日、柳川温泉で開催されました。

長畑遺跡は柳川温泉北東、熊野神社付近にあります。調査は東京大学大学院の福田正宏准教授が中心となり、平成23年、24年の2度おこなわれました。福田准教授は調査結果をもとに「縄文時代の柳川と人々の暮らし」と題して、当時の人びとの暮らしを分かりやすく話してくれました。

長畑遺跡で見つかった土器の多くは縄文時代に分類され、今から約2850年前から2950年前のものと推定されます。遺跡からは、土器や石器などが大量に埋められている「土器塚」が発見されました。分析を進めた結果、当時は栗などを植え、そこから採れた木の実や川魚をお汁にして食べていたことや、月布川流域で採れ石器の材料となる珪質頁岩けいしつげつがんを交換材料に、最上川流域や大井沢、朝日連峰を越えた新潟方面とも交易があったことが判明しました。

福田准教授は「縄文人は想像以上に広範にわたり交流しています。長畑遺跡は当時の暮らしを伝える貴重な遺跡です。ぜひ大事にしてください」と話してくださいました。



■町民一丸となって事故の撲滅を誓う ～平成26年度大江町交通安全町民大会～

町民一人ひとりが交通安全を誓い、「明るく豊かな大江町」「安全で安心な大江町」を実現し、交通事故防止の意識高揚と飲酒運転の撲滅を図るため、交通安全町民大会が9月7日に開催されました。

大会では、寒河江警察署交通課の山口潤係長が「安全安心町づくり 防衛運転の励行」と題して講演をおこない、特に飲酒運転による交通事故について「自分だけでなく、周りにも大きな迷惑をかけることになるので、絶対にしてはいけない」と撲滅を強く訴えました。

続いて、山形県警察音楽隊による演奏や、県警マスコットのカモンくんと町内の園児たちによる元気いっぱいの交通安全マーチなどが披露されました。

最後に菊地さんご家族（梨木原区）3世代が、「家族のため、地域のため、交通事故を起こさないよう心掛けます」と決意を表明し交通事故の撲滅を誓いました。



▲山口潤係長



▲菊地さんご一家



様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します。



第36回寒河江西村山地区自動車安全運転競技大会 団体の部優勝 大江支部

- Aクラス優勝 長澤孝也さん (社会福祉法人碧水会)
- Bクラス3位 佐竹紀恵さん (大江町役場)
- Cクラス準優勝 渡辺哲也さん (株式会社クレンズ興産)

事業所従業員の運転技能向上と、交通安全意識の高揚を目的とした自動車安全運転競技大会が、9月7日に寒河江市で開催されました。

大江町からは上記の3名の選手が出場し、全員が3位以内に入賞し見事団体の部で優勝に輝きました。



山形県知事感謝状 鈴木 豊さん 山形県老人クラブ連合会会長表彰

- 九区松寿会 鈴木 豊さん
- 老睦会 結城清兵工さん
- 笑和会 大谷 和雄さん
- 新規会員5人増強達成クラブ
- 市寿会 (市の沢)、瑞光会 (諏訪原)

9月2日に山形テレサで開催された山形県老人福祉大会において、活動に尽力された大江町の老人クラブ会長の3名と2つのクラブが表彰されました。

みんなで守り未来へつなごう 私たちの公共交通 第3回

今回は、意外と知らない**子どもの運賃**について紹介します

楯山さん



今度、孫と一緒に公共交通に乗ってみたいちゃ～

車掌さん



① おとな (中学生以上) …おとな運賃



② こども (小学生) …おとな運賃の半額
※10円未満の端数については、山交バスは切り上げ・JRは切り捨て



③ 幼児 (満1歳以上～6歳未満※小学生除く) …おとな運賃の半額または無料



④ 乳児 (満1歳未満) …無料



山交バスの一般路線運賃について

「おとな」または「こども」に同伴される幼児は **1人まで無料**です。 ※高速・都市間バスは除きます。



おとな 幼児

おとな運賃1人分

幼児1人まで無料

おとな運賃1人分

幼児1人まで無料

こども運賃1人分



幼児 幼児 おとな

JR左沢線などの鉄道運賃について

「おとな」または「こども」に同伴される幼児は **2人まで無料**です。 ※指定席、グリーン席等は除きます。



おとな こども 幼児

おとな運賃1人分

こども運賃1人分

幼児は無料 (※2人まで)

おとな運賃1人分

幼児2人まで無料

こども運賃1人分



幼児 幼児 おとな



9/7 異国の料理作りに挑戦

おおえ国際交流協会が主催する、世界各国の郷土料理を体験できる「世界の料理教室」が、9月7日に保健センターでおこなわれました。

今回挑戦したのは、暑い夏にぴったりのメキシコ料理。本協会の会員など町内外から17名が参加してメキシコの代表料理といえるタコスを作りました。トルティーヤと呼ばれるトウモロコシの粉で作った薄い生地に肉や野菜などの具を挟んで食べるのが一般的で、参加者は「メキシコ料理は初めて作りましたが、思っていたよりも簡単。家でもまた挑戦してみたい」と話していました。

9/6 秋晴れの下、力いっぱいぶつかる

秋晴れのさわやかな天気となった9月6日、各町立小学校で運動会が開催されました。

左沢小学校では「力を合わせ 勝ちとれ! 左小魂」のスローガンのもと、赤白に分かれて熱戦が繰り広げられました。児童たちは応援合戦をは



じめ、綱引きや大玉おくりなど仲間と力を合わせ勝利を目指しました。

また親子競技では、学年ごとに分かれての「親子まり入れ対決」がおこなわれ、中には児童チームが親から勝つ学年も登場し白熱したものとなりました。



9/8 道路沿いにきれいな彩りを

道路沿いをきれいなあじさいでいっぱいにしようと、小見の老人クラブ小見睦会（伊藤徳夫会長）が9月8日、秋の花摘み作業をおこないました。

同会では活動の一環として長年、大山自然公園へと続く「あじさいロード」沿いの、あじさいの手入れをおこなっています。当日は会員17人が、枯れた花の摘み取りや剪定などをおこないました。

副会長の伊藤藤子さんは「気持ちを込めて手入れをしています。来年もきれいに咲いてほしいですね」と話してくれました。



9/7 秋の果物フェアを開催

町の特産品をまとめて楽しむことができる、大江のうまいもの市が9月7日、左沢駅前広場で開催されました。

今年3回目の開催となった今回の主役は、スモモ、ラフランス、りんごなど旬の果物です。訪れた方は、試食をとおしてそのおいしさを実感し、大江の秋の果物を買って求めていました。

このほかにも町内各店舗から、その店自慢の逸品が販売されるとともに、スモモや町産の豆を使用したずんだ団子のプレゼント企画もあり、会場は多くの人でにぎわいました。



9/14 古寺を舞台に人々が集う

里山が持つさまざまな魅力や野外ライブを楽しむことができるCBJAM2014が、9月14日に古寺緑地休養施設を会場に開催されました。

当日は、県内外の音楽愛好家による野外ライブがおこなわれたほか、チェーンソー体験や、電気ペンを使って木に模様を描くウッドバーニング体験など、自然をテーマにしたワークショップもおこなわれ、多くの来場者で賑わいました。

夕方には会場の中心で巨大なキャンプファイヤーもおこなわれ、訪れた人は火を囲みながら、思い思いの時間を過ごしていました。



▲地元のクロモジを使ったアロマオイル蒸留の実演

チェーンソー体験▶



9/27-28 仲間とともにナンでも挑戦

大江町の豊かな自然の中で、仲間と一緒にさまざまな活動を体験する「大江GO!GO!キャンプ2014」が9月27、28日に開催されました。

初めての開催となった今年は、朝日少年自然の家を会場に、テント宿泊や木のスプーンづくり、星空観察などがおこなわれ、小学4年生から6年生まで14名が参加しました。

夕飯ではオリジナルカレー&ナンづくりに挑戦し、子どもたちは火おこしや食材の調理、炊飯など役割分担しながら、おいしいカレーを作りました。

翌朝は実相院で座禅の体験がおこなわれ、子どもたちは足の組み方や考え方を学んだ後、15分間の座禅をおこないました。

①木材を削ってマイスプーン作り

②小麦粉をこねてナン作り

③実相院での座禅体験

④夕食後におこなわれたボンファイヤー



夜空の星がきれいな季節だ。地球上の生きとし生くる物は全て、土や水、光、空の力を借りながら空の下で暮らしている。秋の空は、特に「夜の星空」が素晴らしい。呼べど叫べど、星は何にも言わないが、輝きを絶やすことはない。

学生時代に、高い山の抜けるような夜空の下、明日からまた普段の生活に戻るお別れ会で、必ず歌っていた歌があった。もう何十年前のこと、記憶は不確かだ。「正調」かどうか、自信はない。

またいつか この山で 会えるさ
また会おう また会おう この山で
綺麗な 思い出 抱きしめ
また会おう また会おう この山で
緑の 星二つ 寄り添う
また会おう また会おう この山で

覚えるために忘れるのか、忘れるために覚えるのか、どちらが正しいか判断するのは難しい。しかしながら「忘れたくとも忘れられないこと」があることも、歌に限らず人生には多い。「覚えて忘れる力」が人生を支えているのかもしれない。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.16

小漆川の台地（13区）端から東に伸びる直線道路が、内町・横町通りです。元和8年（1622年）左沢藩主の酒井直次は、小漆川の地に城を築くとともに、城東側の直線上に城下町を整備しました。城下町は、道路に沿って短冊状に地割され、これが現在の内町・横町通りの原型となりました。

当初は店を構えて商いをする家は少なく、代りに毎月4・9の日に市が開かれていました。市には最上川舟運や陸路で運ばれてきた物資がならび、南は五百川、西は大井沢、北は海味、東は谷地と広い地域から物資が集まりました。小漆川地内には「左 大井沢 右 北山みち」と記された追分石が残っており、町北西部との往来があったことが分かります。

市は大正時代まで開かれていましたが、昭和11年（1936年）の大火をきっかけに、商店が軒を並べるようになりました。通り沿いには、今でも間口が狭く奥行きのある作りをした町並みが残っており、城下町として整備された歴史を今に伝えています。

内町・横町通り



小漆川の追分石

短歌

錦秋の京都に祝う米寿会われ欠席し盛況を祈る

菅井 妙子

夕暮れて虫の合唱裏木戸の聞きて湯浴みす一番風呂に

菊地つねよ

西山のコスモス畑に目をやれば初秋の風にゆれて咲きをり

堀 トヨエ

去年の秋孫娘にもらひしこの服はハイカラ過ぎて吾に似合はず

佐竹 麗子

新旧の車を後ろに我立てり別れと出会いちよつと人生

山家 重之

命日にお経唱えし遺影から鼻をこすって親父ほほえむ

佐竹 與鼓

戦友とふ同期の桜散りちりて絶滅危惧種となりけるかも

齋藤 徳治

俳句

「がんばって」笑顔のナース秋桜

菅井 妙子

朝霧や今日一日は山日和

今井 茂樹

祭り囃子新人童勢揃ひ

鴨田富士夫

古き雑誌と昔に帰る秋の蔵

山家 重之

金木犀かをりの先の最上川

阿部 一風

被災地に飛び交ふ蜻蛉悼むかに

金子脩一郎

秋草を揺らし列車の旅靴

安藤由美子

木洩れ日や夏の去りゆく石畳

秋元喜一郎

戦後早月布川の芋煮会

熊谷 勉

自然薯やいつの世もある臍まがり

舟山 三男

月山の姿すつきり出羽の秋

伊藤 啓泉

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日（必着）まで役場総務課に作品をお寄せください。

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん



Youthful トーク

「食材に異物が混ざっていないかを調べる仕事をしています。やさしい先輩たちに囲まれ、充実した仕事をさせてもらっています」と話す小松さん、現在マルハニチロ大江工場に勤めています。

走ることが好きで、高校では陸上部に所属し800m走の選手をしていたそうです。「中学生の時は、父から走り方を教わりました。高校では陸上競技をがんばりたくて、親に無理を言って希望校に進学させてもらいました。就職してみても、改めて親のありがたさを感じています」と小松さんは話します。

甘いものが好きで、特にチョコレートが大のお気に入り。高校時代には試合前でも食べて、気合を入れていたそうです。

町のスポーツ推進員も担当している小松さん「町のJr駅伝チームのマネージャーなどをさせてもらっています。私を感じた陸上競技の楽しさを子どもたちに少しでも伝えられたらいいですね」と話してくれました。

小松 明日香さん (21歳・藤田)

支えてくれた家族に感謝

地域おこし協力隊通信

No. 6



夏があっという間に駆け抜けていきました。気が付けば上着を着込み、田んぼも黄金色に光って綺麗でしたね。

9月は町外での様々な研修に参加しました。例えば、映像制作の方法を学ぶ研修では、全体の構成を練る流れや機材の特徴などを初めて学ぶことができました。

また、山をどう活かして地域の活力に結び付けていくかという研修では「頂上を目指さない登山」があることも山の楽しみ方の一つだと、今ある魅力を再構築して考えさせられる内容でした。そこで会った方々と話をしてみると、否定意見を出さず、実現に何が必要かという建設的な考えの方ばかりで、県内にもたくさんの素敵な方がいらっしゃるなあと感じました。そして「外に出ること」「他人の考えに触れること」の大切さを再確認したところです。

協力隊の任期も3月で終わりを迎えます。これから染まっていく紅葉をゆっくり眺めながら、自分の今後についてしっかり考えて準備を進めていきたいと思っています。 **地域おこし協力隊 石坂康平**



↑「山塾」
鳥海山にて

映像研修会の様子です→



お知らせ

Information

おえハロウィンパーティーを開催
します☆みんな仮装して集まれ〜！

◆日時／10月26日(日) 14時〜17時

◆場所／中央公民館2階中ホール

◆内容／トリックオアトリート！お菓子やゲームや仮装コンテストなど

◆参加費／一人500円（3歳以下、または会員は無料）

◆条件／必ず仮装をしてくること！（亡霊たちの機嫌が悪くなってしまう…！）

◆持ち物／お菓子を入れる袋

◆申込締切／10月22日(水)まで

※お問い合わせは、おえ国際交流協会事務局（政策推進課内）

☎(62)2118まで

平成26年度大江町文化祭協賛事業 歴史民俗資料館伝統食のつどい開催

「納豆もち」や「なんばもち」をご賞味いただける伝統食のつどいを開催します。ぜひお越しください。

なお、限定80食となりますので、前売り券をお早めにお求めください。

◆日時／11月3日(月) 11時〜14時

※13時30分までお越しください

◆場所／大江町立歴史民俗資料館

◆会費／前売り券／800円

当日券／1,000円

※お問い合わせは、大江町中央公民館 ☎(62)3666まで

大江町表彰者の内申について

大江町表彰条例に基づき、個人または団体で町の政治、経済、文化、社会、その他の各分野にわたって町振興に寄与し、または他の模範と認められる方の表彰をおこないます。

11月7日(金)まで、各企業および団体などからの内申をお願いします。

※お問い合わせは、総務課庶務係

☎(62)2112まで

ツキノワグマの出没に関する 注意について

秋になり、山形県内はもとより町内でもクマの出没、目撃件数が増えています。特に今秋は、ブナの実の予測が「凶作」となっているため、クマはエサ確保のため、広範囲を動きまわることが予想されます。

山だけではなく河川や住宅地の周辺でも、野外に出る時は、自分の存

大江町交通安全母の会より 反射材が贈られました



9月26日、大江町交通安全母の会が大江中学校に交通安全夜光反射材を贈呈しました。

この取り組みは、日没が早くなるこの時期、徒歩や自転車通勤する生徒達を交通事故から守るために、交通安全母の会が昨年度からおこなっています。

今年度は、大江中学校全校生徒に、手足首やカバン、自転車などに簡単に付けられるリストバンド型の反射材227個を配布しました。

生活委員長の富樫茉優さんは「暗くなるのが早くなってきたので、この反射材を身に付け安全に通学します」と話してくれました。

10月は浄化槽月間です

浄化槽を適正に使用し、維持管理していますか？

浄化槽の適正管理が、身近な河川をきれいに保つことにつながります。浄化槽の機能を妨げる廃棄物や油や漂白剤などを流さないように適切に使用しましょう。また、浄化槽法で義務付けられている法定検査、保守点検、清掃を必ずしましょう。

※お問い合わせは、建設水道課庶務係

☎(62)2117まで

おおえの物産味覚まつり開催



大江の物産・秋の味覚が勢ぞろいする「おおえの物産味覚まつり」を開催します。りんご・ラフランスなど農産物の販売、宮城県亘理町の海の幸、豪華景品が当たる抽選会など、楽しい企画をたくさんご用意してお待ちしています。また、当日は会場内でミニライブやミニSLの運行、バルーンアートプレゼントなどもおこないます。ぜひご家族そろっておいでください。

- ◆日時/11月16日(日) 9時30分~14時30分
- ◆場所/東地区公民館(町民ふれあい会館)
- ※11月13日に、イベントチラシを配布します。
- ※お問い合わせは、大江町商工会 ☎(62)4128、または政策推進課 ☎(62)2139まで

2014介護就職デイ 福祉のしごとフェア

山形労働局では、11月11日の「介護の日」にあわせて、介護、福祉分野の就職機会の拡大を図るため、仕事フェア開催します。

- ◆会場/山形ビッグウイング
- ◆内容/おもしろ環境ゼミナール、エコ料理ふるまい、環境落語、テツ&トモニライブ、おもちゃの交換会、エコカー・新車フェスティバル
- ※お問い合わせは、山形県循環型社会推進課 ☎023-630-2322まで
- ◆日時/11月8日(土) 13時~15時30分
- 11月9日(日) 10時~15時30分
- ◆場所/山形県看護協会会館
- ◆対象/介護、保育、医療の福祉分野の仕事に関心がある方、就職を希望する方(一般・学生問わず)
- ◆内容/①就職希望者と採用担当者の自由面談②各種相談と情報提供④保育士再就職支援研修会(9日午前)
- ※入場無料、事前申込不要

「山形ビッグウイング フェスティバル」開催

※お問い合わせは、ハローワークや
まがた ☎023-684-1521まで

開館から20年を迎えた山形ビッグウイングで、村山広域圏(7市7町)の観光案内及び各市町の物産品・名産品などの展示販売がおこなわれます。さまざまなイベントもお楽しみいただけますので、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

- ◆日時/11月1日(土)・2日(日) 10時~16時
- ◆会場/山形ビッグウイング
- ◆入場料/無料
- ※お問い合わせは、山形ビッグウイング ☎023-635-3100まで

自衛官候補生募集のお知らせ

- ①自衛官等募集
- ◆募集種目/自衛官候補生(男子)
- ◆募集資格/18歳以上27歳未満
- ◆受付締切/11月21日(金)
- ◆試験日時/11月30日(日)
- ②自衛官等採用説明会
- ◆日時/10月26日(日) 10時~14時
- ◆場所/自衛隊山形募集案内所(山形市南原町1丁目25-35)、フローラ

編集 後記

暑さが和らぎ、日に日に秋の深まりを感じさせる季節になりました。秋を感じさせるものはいろいろありますが、私はやはり「食」です。秋刀魚、芋煮、キノコ：家の食卓にも旬の食材が並びます。9月14日に古寺で開催されたC B J A M 2014(詳しくはP15)にお邪魔してきましたが、そこで大江の新たな味覚を体験しました。キャンプファイヤーが始まるまでの時間を利用して、地域おこし協力隊の石坂さんとバーベキューをしたのですが、食材は何と大江町で養殖されたイワナです。調理する直前まで川で泳がせていたものなので新鮮そのものでした。イワナを食べるのははじめてでしたが、一口食べた感想は「やばい、うますぎる」です。川魚独特の臭いがなく、肉質が軟らかく、たくさん脂がのっている。古寺の自然に囲まれながら、大江の味覚を満喫する取材となりました。(山家雄志)

S A G A E 教養文化室403号室(寒江江市本町2丁目8-3)
※お問い合わせは、自衛隊山形募集案内所 ☎023-632-8976まで

「小さな石像」 藤田区 荒川啓一



リレー随想／ 《第88回》

地元の八十八ヶ所 参りをして

今年の6月梅雨入り前、藤田区の人たち7人で「新四国最上八十八ヶ所」の大江町版ともいえる「左澤本郷、七軒、大井澤四ヶ村霊場」詣りをしてきた。

その霊場と御詠歌の書かれてた冊子によれば明治19年、巨海院住職、実相院住職、井上惣兵衛他2名

が発願者となり、柳川の高福院住職の賛同を得て、同25年「四力村霊場八十八ヶ所」を設定したとある。そして、地元の有力者から寄付を受け、各霊場に御詠歌額と原町林仏師作の弘法大師像を奉納したと記されている。

1番札所は巨海院、2番が実相院3番が薬師堂で、左沢地区から3ヶ所。本郷地区は24ヶ所、大井沢地区は4ヶ所、七軒地区からは57ヶ所が選定されている。

どの地区にも貴重な歴史的・文化的財産はあるわけだが、特に七軒地区に特に多いのは、昔、青芋で栄え、出羽三山参詣の道が通っていたという背景があったからであろう。

一度に全部回るのには難しかった。奥地で離れている所は少し省略し、同じ方面にある分はまとめて御詠歌をあげてきた。

近くにいた人からお堂の場所や道を教えてもらったり、また、草やぶをかき分け登ったりしたところもあった。そうしてたどり着いたお堂は、杉の木に守られ、苔むした石碑・石塔を相伴にするなど、それぞれ格好の場所に鎮座されていた。

寺院とは別に、観音堂、地藏堂、不動堂、阿弥陀堂、弥勒堂、大師堂、白山堂、普賢堂、明神堂、優婆塞堂な

いろいろなお堂があった。

お堂の創立や由来などは全く分からないが、どの御堂も頑丈な造りになっていた。中には、土蔵造りや龍の彫刻飾りがある御殿風もの、正面の柱の三面いっぱい彫刻が施してあるものもあった。どれも大事にされてきたのでしよう。

山の中で参道の草刈をしている方もいた。あるお堂の「奉順札七軒三十三観音、昭和六十三年」と書かれた納札のわきに、小漆川の人たちの名前が書かれたものがあった。昔の人はよくお参りをしたものだが、今はどうなっているのだろうか。

お堂などの維持保存には大変な苦労が伴うのは当然としても、山村集落移転の折、人々の心のよりどころとしてきた本尊様と一緒に里に移し、お堂を建てお祀りしているところもあつた。

「人住むところに祈りの場あり。」大事なものは、やはり大事にしていきたいし、住むところは、やはり住み心地のよいところにしていきたいものです。

新発見に驚きづくめ、いやしの巡礼となったのでした。10月、大井沢の4ヶ所詣りが楽しみです。

(藤田区 黒川 辰治)

人口と世帯(前月比)

町の人口 8,863人(-22)
男 4,353人(-4)
女 4,510人(-18)
世帯数 2,924戸(-1)

平成26年10月1日現在

戸籍の まど

8月21日～9月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
1区	佐藤 実李	男	智徳・麗奈
美郷	堀 二千花	女	弘樹・栄子

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
12区	明石 晋
諏訪原	鈴木 麻里
顔好	鈴木 雄一郎
12区	渡辺 志歩

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
藤田	佐藤 淳	(41)
6区	佐藤 昇	(77)

6区	安藤 きのの	(96)
4区	菊地 きの子	(79)
下北山	木村 辰夫	(85)
9区	大泉 英子	(79)
5区	五十嵐 長芳	(93)
堂屋敷	清野 きつじ	(95)
3区	清野 謙治郎	(89)
蛭水	小野 哲子	(72)
藤田	伊藤 フミエ	(92)
13区	大沼 新次郎	(96)
3区	林 政男	(74)
9区	横山 まつ	(85)
檜山	東海 林はるよ	(80)
藤田	鈴木 絹枝	(72)
藤田	村上 健司	(88)
9区	鹿股 豊	(88)